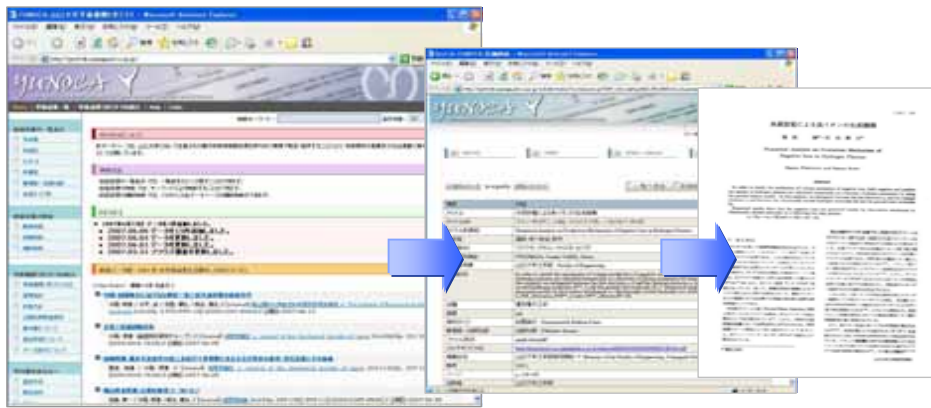


Yamaguchi University  
 Navigator for Open access  
 Collection and Archives

# yUNOCA

## 山口大学学術機関リポジトリ

山口大学において生産された電子的学術的情報資源を学内外に提供することにより、地域の知の拠点として、学術研究の振興及び社会貢献に寄与することを目指しています。

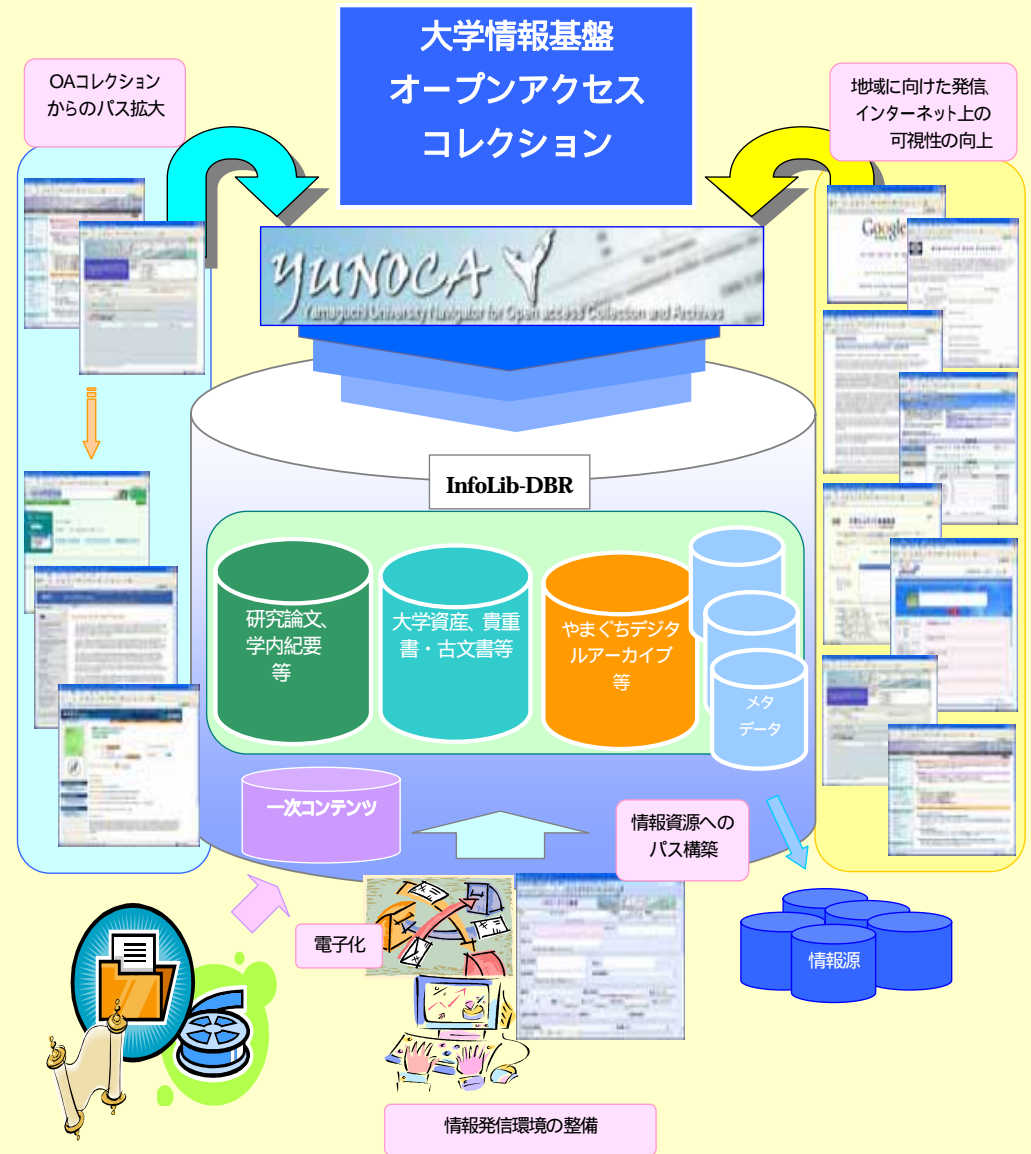


### 収録コンテンツ

Collection contents

- 紀要論文: Departmental Bulletin Paper
- 学術雑誌論文: Journal Article
- 会議発表論文: Conference Paper
- デジタルコンテンツ: Digital Contents
- 大学資産、貴重書、古文書等: Rare Contents

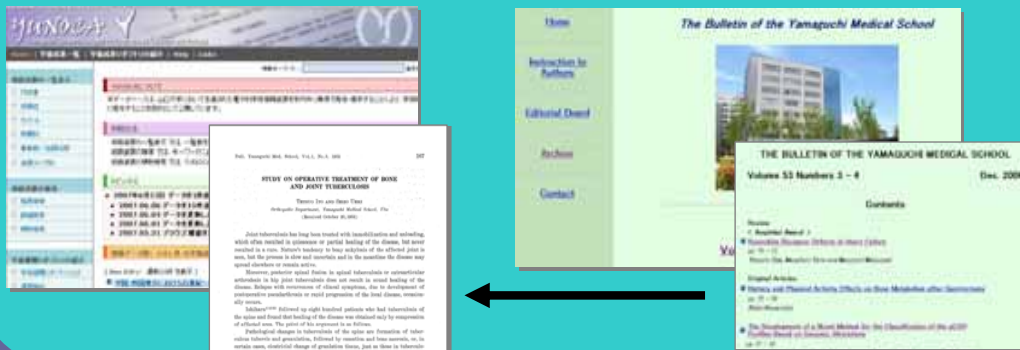
## YUNOCA システム概要



## 紙媒体から電子発信へ ~ 学内紀要 ~

YUNOCAでは、全学内紀要を電子発信することで、学内紀要ポータル機能を目指しています。YUNOCAで公開することにより、可視性の向上と社会への情報還元が可能となります。また、紙媒体による出版コストの削減や、書庫の狭隘化問題の改善も期待できると考えています。

現在は、医学部が発行している『The Bulletin of Yamaguchi Medical School』の電子発信を実現しています。目次等の情報を発行元のHPに持ち、YUNOCAにある本文ファイルとリンクしています。



## 特色あるコンテンツ

YUNOCA が採用しているシステムの InfoLib-DBR には、それぞれ別のメタデータ基準を持つ複数のデータベースを横断検索できるという特徴があります。その特徴を生かして、学術論文・紀要論文データベースのほか、下記のデータベースを登録しています。

### 貴重資料コレクション

山口大学では、学内で所蔵する博物・美術資料および文字・活字資料の目録化と保存(デジタル化を含む)を目的とした山口大学所蔵学術資産継承事業を平成 18 年度より進めています。この事業によって電子化された貴重資料の公開ツールとして YUNOCA が利用されています。

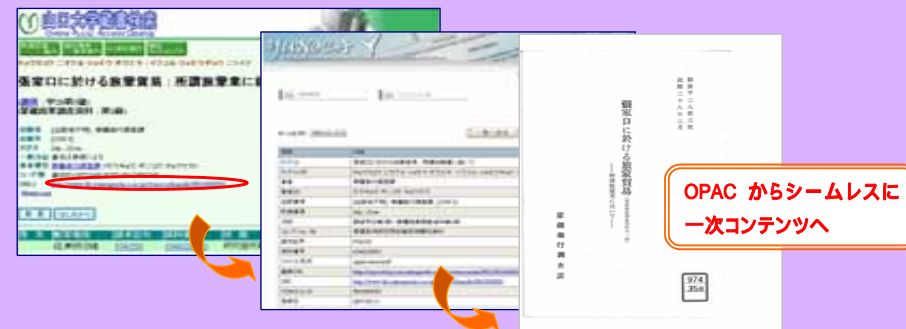
平成 19 年 6 月 22 日現在、経済学部東亜経済研究所所蔵の戦前期東アジア関係資料(22 点)が既に公開されています。

メタデータ詳細画面には資料イメージが表示されます



~ OPAC からのリンク ~

山口大学蔵書検索(OPAC)から検索できる資料には、書誌中に YUNOCA・URI へのリンクを張っています。利用者は OPAC で検索後、シームレスで一次コンテンツにアクセスすることができます。



OPAC からシームレスに一次コンテンツへ

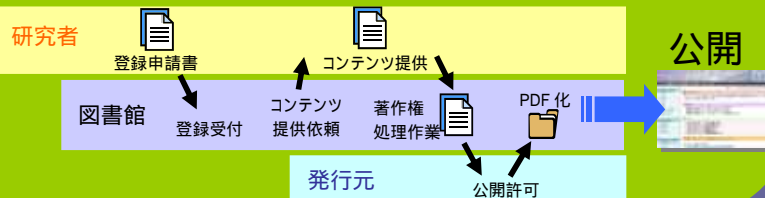
## YUNOCA 登録までの流れ

まずは、YUNOCA 利用のための利用登録を行います。利用登録を行うことで、研究者自身の Web 上でのセルフアーカイブが可能となりますが、セルフアーカイブ機能は現在調整中です。利用登録後、研究者への登録完了通知と同時にコンテンツの提供を依頼します。

研究者から提供があったものから、簡易メタデータを管理画面に入力し、出版社へ公開許可の確認を行います。

出版社の許可が取れ次第、メタデータを作成し、公開となります。紙媒体での提供の場合は、図書館で pdf 化作業を行います。

これら一連の流れは、アクセスファイルで管理しており、各担当者が作業内容をチェックし、随時情報を追加しています。



## 他データベースとの連携構想

山口大学には、YUNOCAの他に、『人・知・技～職員・研究分野データベース』や研究者の『自己点検評価(YUSE)』、『シラバスデータベース(CABOS)』といった複数の研究情報データベースが存在しています。将来的には、それらのデータベースと連携し、相互に研究情報を流用できる仕組みや、各データベースが持つ情報に対する一次データを全て YUNOCA が持つことで、『山口大学の知の広場』の役割を果たすことを目標としています。

### デジタルコンテンツ

山口大学内で製作された動画ファイルを公開しています。コンテンツの内訳は下記のようになっています。

『デジタル山口大学』 山口ケーブルテレビジョン(株)との共同で放映している大学活動紹介番組のアーカイブ

『山口大学大学情報機構コンテンツアーカイブ』 学園祭などの大学行事を撮影したものの

『山口大学図書館イベント・活動記録』 図書館での展示の様子など図書館関係のイベントを撮影したものの

...etc.



# 山口大学の構成員

研究

教員・研究者・大学院生等

教育

学術論文

紀要論文

教材・授業  
テキストなど

報告書等

学位論文

研究成果の投稿

教育成果の投稿

閲覧

検索

## 山口大学学術機関リポジトリ

教育・研究成果の電子化・整理・蓄積

研究業績 等

学内出版物  
学内紀要の電子化

学術成果デジタル  
コンテンツ

学術資産デジタル  
コレクション

やまぐちデジタル  
アーカイブ 等

大学資産の電子化  
貴重書・古文書等

学術情報の公開発信

検索・閲覧

産学連携

地域連携

世界中の研究者

国内の研究者・国外の研究者  
民間の研究者 など

社会・企業

企業、他大学  
他機関 など

社会・地域

地域住民  
県内大学 など

学内研究者のメリット

新たな研究成果発信ルート  
研究・教育資源の共有化  
個人研究成果の保管場所  
研究成果へのアクセス拡大

山口大学のメリット

大学存在感の明示  
社会に対する公開義務